



## 第 1877 回例会

平成 28 年 6 月 6 日(月)

18:30～ 海南商工会議所 4F

夜間例会 お誕生日、結婚記念のお祝い

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱 「君が代」
3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
4. ゲスト紹介 米山記念奨学生 郎 彦昆 君
5. 出席報告  
会員総数 48 名 出席者数 28 名  
出席率 58.33 % 前回修正出席率 60.42 %

### 6. 会長スピーチ

みなさん今晚は。近畿地方は先週の 4 日に梅雨入りした模様です。しばらくは鬱陶しい季節が続きますが、この時期に雨が少ないと夏場に困ったことになりますのでしばらくは雨とお付き合いになりそうです。

本日のお客様は米山記念奨学生の郎君です。どうぞゆっくりお過ごしください。

6 月 2 日と 6 日に次年度地区ローターアクト委員会が開催され、中西さんが出席されました。ありがとうございました。また、次年度には地区に中長期委員会が設置され、当クラブの谷脇良樹さんが委員として、就任されることになりました。

2640 地区の辻ガバナーと社会奉仕委員長から、熊本地震義援金ご協力のお礼のメールが届いています。地区の社会奉仕委員会の事業として熊本地震への義援金の要請がありまして、当クラブより 25 万円を寄付いたしました。2640 地区で 5,790,609 円の義援金が集まつたそうです。協賛クラブ率は 83 パーセントです。このお金は国際ロータリー第 2720 地区の熊本地震総合支援室の口座に振り込まれ、義援金の活用方法については地元のロータリアンによる被災地での支援活動ならびに今後の復興支援の費用にあてられます。第 2720 地区は熊本県と大分県の 74 クラブで

**6 月は親睦活動月間です**

構成されており会員数は約 2,400 人です。熊本では、被災者向けの仮設住宅が整備され始められたようです。一日でも早く復興が進むことを願うばかりです。本日は以上です。ありがとうございました。

### 7. 幹事報告

○メーティングアップ  
阪口 洋一 君 6 月 2 日 海南西 RC

### 8. 米山奨学金の贈呈

米山記念奨学生 郎 彦昆 君



### 9. 閉会点鐘

次回例会

第 1878 回 平成 28 年 6 月 13 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

ゲスト卓話 北畠会計事務所 北畠 米嗣 様



**ニコニコ・BOX**



Happy birthday !  
6月のお祝い



#### ☺会員誕生日

3 日 宇恵 弘純 君	18 日 総田 さよ志 君
24 日 三木 正博 君	30 日 中西 秀文 君

#### ☺奥様・旦那様誕生日

10 日 阪口 節子 様	17 日 上中 由貴 様
22 日 寺下 十茂子 様	22 日 倉橋 直美 様
23 日 上野山 衣利子 様	

#### ☺一般ニコニコ

小椋 孝一 君 深谷さん、先日は、本を送って下さってありがとうございました。  
また、韓国にての国際大会で阪口会長、参加の皆さんにお世話になりました。有難うございました。

四つのテスト 言行はこれにちなんでから

- ①眞実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所

〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長 阪口 洋一 幹事 横出 廣 SAA:千賀 知起

山名 正一 君	例会欠席が多く、すみません。
林 孝次郎 君	昨日、孫と一緒に蛍を小川の里へ見に行きました。また、テニスの試合で優勝しました。国体が終りましたが、今、強化選手の若い女子選手をお世話しました。
花田 宗弘 君	3月5日にヨットでボルネオ島を出発、4,000Kmを航海しました。
千賀 知起 君	2回連続で例会を休みました。家内が倒れ、大変でした。



## 財団の活動成果と未来にスポットライト ロータリー国際大会

韓国で開催中のロータリー国際大会の本会議で、5月31日(火)、レイ・クリンギンスマス管理委員長が講演しました。

会員からの惜しみない支援に加え、ポリオプラスやロータリー平和センターなどのプログラムによって、財団の活動はかつてないほど世界に注目されている、とクリンギンスマス氏。その一例として、米国の大手報道機関、CNBC



が「2015年に世界を変えた慈善団体トップ10」の第5位にロータリー財団を位置づけたことに触れ、「私たちの財団がこれまでにも増して力をつけていることは明らかです」と述べました。さらに、昨年の寄付額が2億6900万ドル以上だったことを報告し、2016-17年度には、財団創立100周年を記念して全世界で寄付総額3億ドルを目指すよう呼びかけました。

「さらに高い目標ですが、達成は可能です」 次に、『世界でよいことをしよう：人びとの心に触れた100年』の著者デイビッド・フォワード氏、第6840地区ガバナーエレクトのランドール・フェルドマン氏、ステファニー・アーチック氏がステージに登場し、次年度の財団100周年の祝賀について話しました。

ロータリー財団100周年祝賀委員長であるアーチック氏は、この祝賀における4つの大きな目標を以下のように説明しました。

- ・ロータリーとその財団に対する会員と一般の人びとの理解を深める
- ・主な功績や活動成果を振り返る
- ・地元地域やロータリー行事において祝賀イベントを開催する
- ・さらなる支援への意欲を喚起する

アーチック氏は次のように語ります。「一生に1度しか巡ってこない機会だからこそ、100周年の祝賀は本当に楽しみです」

### ポリオ撲滅の現状

米国疾病対策センターの世界保健センター責任者、レベッカ・マーティン氏が講演し、昨年の世界ポリオ

撲滅活動におけるロータリー財団の大きな貢献について話しました。

昨年、世界保健機関(WHO)は、ナイジェリアが「ポリオフリー」となったことを宣言。同国はアフリカ大陸で最後のポリオ常在国だったため、このままの状態を維持できれば、8月1日にはアフリカ大陸でポリオ発症が1件もないまま丸2年間が経過すると述べました。このような進展の一方で、課題も根強く残っています。「パキスタンとアフガニスタンに野生型ポリオウイルスが残っている限り、世界は危険にさらされています」とマーティンさん。「ウイルス検知の力を強め、予防接種、各国リーダーや関係者へのアドボカシーの強化、監督の徹底、ポリオ撲滅活動で築かれたインフラの活用と強化を通じて、感染のリスクをさらに減らしていく必要があります」今年、ポリオウイルスが常在する2カ国(アフガニスタンとパキスタン)で進展が見られています。両国での野生型ポリオウイルスによる発症は16件にとどまっており、昨年度同時期の25件よりも少なくなっています。「あらゆるレベルで、2カ国の政府間の協力が強まっている」とマーティンさん。「国境越えをする子どもにワクチンを投与し、監視データを共有しています。両国がポリオフリーとなるには、これが唯一の方法なのです」

### ライズリー氏が正式に会長ノミニーに

火曜日午後には、K.R.ラビンドランRI会長とジョン・ヒューコ事務総長の進行の下、2017-18年度RI理事と地区ガバナーが選出され、イアン H.S. ライズリー会長ノミニーが全会一致で2017-18年度国際ロータリー会長となりました。



事務総長の報告では、ロータリープラント強化、会員基盤の増加、財団への支援、パートナーシップの拡大といった話題が取り上げられました。「ポリオにおけるパートナーシップは、今後の取り組みのモデルとなるもの」と事務総長。「国際ロータリー理事会が、重点分野における戦略的パートナーを確保しようとしているのは、このためです」。事務総長は、パートナーシップの一例としてロータリーとUSAID(米国国際開発庁)とのパートナーシップを紹介。このパートナーシップでは、ロータリーの草の根ボランティアのネットワークとUSAIDの専門知識と技術をつなげ、清潔な水と衛生設備を増やすことを目指しています。

ヒューコ氏は、2015-16年度のロータリー会員数が史上2番目に多くなったことに言及し、記録を更新するには新会員の入会に特に力を入れる必要がある、と述べました。「入会者を増やし、現会員の体験をもっと充実させるために、工夫を凝らしてください。会員がいなければ、この世界にロータリーもありません。また、ロータリー財団がなければ、ロータリーは今日のような素晴らしい団体になっていなかつたでしょう」